

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 1 区分
 【発行日】平成 29 年 7 月 27 日 (2017.7.27)

【公表番号】特表 2016-521567 (P2016-521567A)
 【公表日】平成 28 年 7 月 25 日 (2016.7.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2016-044
 【出願番号】特願 2016-518868 (P2016-518868)
 【国際特許分類】

C 1 2 N 15/09 (2006.01)
 C 1 2 N 5/10 (2006.01)
 A 6 1 K 39/155 (2006.01)
 A 6 1 K 35/76 (2015.01)
 A 6 1 P 31/14 (2006.01)

【 F I 】

C 1 2 N 15/00 Z N A A
 C 1 2 N 5/10
 A 6 1 K 39/155
 A 6 1 K 35/76
 A 6 1 P 31/14

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 6 月 15 日 (2017.6.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

アミノ酸 2 ～ 77 を欠損した変異 P タンパク質をコードするためのリン酸化タンパク質 (P) 遺伝子に改変された核酸を含む、ゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクターであって、該核酸は、さらに、呼吸器合胞体ウイルス (R S V) F 細胞外ドメイン又はその免疫原性フラグメント若しくはその変異体、S e V F 膜貫通ドメイン又はその機能的フラグメント若しくはその変異体、及び、任意に、S e V F 細胞質ドメイン又はその任意のフラグメント若しくはその変異体、をコードする、ゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクター。

【請求項 2】

該 R S V 細胞外ドメインは、R S V F タンパク質のアミノ酸 1 ～ 524 に対応し、及び / 又は、該 S e V 膜貫通ドメインは、S e V F タンパク質のアミノ酸 500 ～ 523 に対応し、及び / 又は、該 S e V 細胞質ドメインは、S e V F タンパク質のアミノ酸 524 ～ 565 に対応する、請求項 1 に記載のゲノム複製欠損 S e V ベクター。

【請求項 3】

該キメラ F タンパク質は、本質的に、細胞質ドメインが欠損している、請求項 1 又は 2 に記載のゲノム複製欠損 S e V ベクター。

【請求項 4】

該核酸は、さらに、可溶 R S V F タンパク質又はその免疫原性フラグメント若しくは変異体をコードする、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のゲノム複製欠損 S e V ベクター。

【請求項 5】

該可溶 R S V F タンパク質が、R S V F タンパク質の細胞外ドメイン又はその免疫原性フラグメント若しくは変異体である、請求項 4 に記載のゲノム複製欠損 S e V ベクター。

【請求項 6】

該核酸が、可溶 R S V F タンパク質又はその免疫原性フラグメント若しくは変異体をコードしない、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載のゲノム複製欠損 S e V ベクター。

【請求項 7】

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクター、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のゲノム複製欠損 S e V ベクターの核酸若しくはその相補体、及び / 又は、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のゲノム複製欠損 S e V ベクターの核酸をコードする、若しくは該核酸の相補体をコードする D N A 分子、を含む宿主細胞。

【請求項 8】

(i) 請求項 7 に記載の宿主細胞を培養すること、及び

(i i) 該細胞培養物から該ゲノム複製欠損 S e V ベクターを回収すること、を含む請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクターを製造する方法。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクター、及び、1 以上の薬学的に許容される担体を含む、ワクチン。

【請求項 10】

さらに、アジュバントを含む、請求項 9 に記載のワクチン。

【請求項 11】

哺乳動物において、R S V 感染又は感染関連疾患の治療に使用するための、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載のゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクター。

【請求項 12】

該哺乳動物が、ヒト被験体である、請求項 11 に記載の使用のためのゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクター。

【請求項 13】

該ヒト被験体が、早産のヒト幼児若しくは R S V 感染に対する入院のリスクがあるヒト幼児を含むヒト幼児又は小児、高齢者、ヒト免疫無防備状態の個体、移植レシビエント、あるいは、慢性疾患を罹患している個体、である、請求項 11 又は 12 に記載の使用のためのゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクター。

【請求項 14】

該ワクチンが、非経口的、局所的又は粘膜的に投与される、請求項 11 ～ 13 のいずれか 1 項に記載の使用のためのゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクター。

【請求項 15】

該非経口投与が、皮下、静脈内、腹腔内又は筋肉注射によるものである、請求項 14 に記載の使用のためのゲノム複製欠損センダイウイルス (S e V) ベクター。